

下妻市(しもつまし)

	市章等 〒 304-8501 〈住所〉 下妻市本城町2-22 〈TEL〉 0296-43-2111 〈FAX〉 0296-43-4214 〈HP〉 http://www.city.shimotsuma.lg.jp/ 〈e-mail〉 info@city.shimotsuma.lg.jp	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業
	類型 I-O 地方公共団体コード 082104 面積 80.88 km ²	消防救急 火葬場 ごみ処理 上水道 尿処理 退職手当事務 公務災害事務 税滞納整理		

<行政組織>

①長等(H20. 5. 1現在)

長	おぐら としお 小倉 敏雄 (67 歳)	任期	H18.4.14~ H22.4.13
副市長	稲葉 本治	収入役	-

②議会(H20. 5. 1現在)

議長	木村 進	副議長	原部 司
任期	H23.12.20	条例定数	24 名
党派別	公明2 共産2 無20	現議員数	24 名

③職員数(H19. 4. 1現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係		公営事業 会計関係	
		351	298		247
一般行政職の 平均給料月額	3,363 百円	ラスパイ レス指数	98.1	地域手当 補正後 ラス指数	98.1
全職員数の 推移	H16. 4. 1 380	H17. 4. 1 375	H18. 4. 1 364		

④機構図(H20. 4. 1現在)

<<市長>> -- <<副市長>> --
 総務部一秘書課, 総務課, 人事課, 情報政策課
 企画財務部一企画課, 財政課, 税務課, 収納課
 市民環境部一市民課, 生活環境課, 市民安全課, ぐらしの窓口課
 保健福祉部一保険年金課, 介護保険課, 保健センター, 福祉事務所
 経済部一農政課, 農地整備課, 商工観光課
 建設部一建設課, 都市整備課, 下水道課
 教育部一学校教育課, 指導課, 生涯学習課, スポーツ振興課, 図書館,
 公民館, ふるさと博物館
 <<会計管理者>>一会計課
 <<水道事業管理者>>一水道事業所

 <<議会>>
 議会事務局
 <<行政委員会>>
 選挙管理委員会・監査委員・公平委員会
 固定資産評価審査委員会事務局
 農業委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和29年4月1日 編入 大宝村 騰波ノ江村
昭和29年6月1日 編入(市制施行) 上妻村 総上村 豊加美村 高道祖村
平成18年1月1日 編入 千代川村

②地勢・風土等

東京都心から60km圏内の県南西部に位置し、概ね平坦な地形で、恵まれた水と緑の自然環境や歴史と文化を生かし、県西地域の中心都市として発展してきました。
 現在は、田園居住の地として、新たな産業展開を目指し、さらに身近な観光・リクリエーションの地として注目を集めつつあります。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (H20. 4. 1)	
	H7	H12	H17		
人口	男	22,855	23,308	23,127	22,813
	女	22,611	23,236	23,308	22,881
	合計	45,466	46,544	46,435	45,694
世帯数	12,951	14,059	14,790	15,000	

④有権者数(20. 3. 2現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 20.9 %
	18,099	18,240	36,339	

⑤高齢人口割合 (H20.3.31住基人口)

<産業・経済>

①生産・所得(平成17年度)

市町村内総生産	1,501 億円	就業者1人当り	6,658 千円
住民所得	1,116 億円	人口1人当り	2,404 千円

②産業構造

区分	総生産額(H17年度)		就業人口(H17国調)	
第1次	5,302	3.5 %	1,838	7.6 %
第2次	45,958	30.6 %	9,028	37.5 %
第3次	102,410	68.2 %	12,914	53.6 %
総額・総数	150,088	-	24,072	-

③農業・工業・商業

農業 (H17. 2. 1)	農家数	農業就業人口	農業産出額 (H18.1.1~12.31)
	2,734	1,518	9,780
製造業 (H18. 12. 31)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H18.1.1~12.31)
	186	5,586	116,924
卸・小売業 (H19. 6. 1)	商店数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	597	3,685	92,740

④特産物

梨 豚肉加工品 米(コシヒカリ) 千石きゅうり 大玉すいか メロン

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	H17決算	H18決算	増減率
歳入	15,263,830	14,816,258	△ 2.9
歳出	14,526,189	14,228,616	△ 2.1
形式収支	737,641	587,642	-
実質収支	691,080	532,060	-
単年度収支	△ 48,602	△ 159,020	-
実質単年度収支	△ 167,921	△ 11,032	-

②主な歳入・歳出(平成18年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	14,816	-	△ 448	△ 2.9
地方税	4,915	33.2	121	2.5
地方交付税	3,900	26.3	25	0.6
国庫支出金	927	6.3	△ 25	△ 2.6
地方債	1,156	7.8	30	2.6
うち臨時債費	528	3.6	-	-
その他	3,918	26.4	-	-
うち繰入金	260	1.8	-	-
歳出	14,229	-	△ 298	△ 2.1
義務的経費	6,322	44.4	△ 26	△ 0.4
人件費	2,821	19.8	△ 109	△ 3.7
扶助費	1,815	12.8	161	9.8
公債費	1,686	11.8	△ 78	△ 4.4
投資的経費	1,233	8.7	-	-
普通建設事業費	1,233	8.7	△ 247	△ 16.7
うち補助	435	3.1	63	16.9
うち単独	755	5.3	△ 141	△ 15.8
その他の経費	6,674	46.9	-	-
うち繰出金	1,364	9.6	-	-

③主要指標(平成18年度)

区分	指数等
標準財政規模(H19)	9,552 百万円
財政力指数(H17~H19)	0.589
経常収支比率	96.6 %
公債費負担比率	13.9 %
実質公債費比率	19.5 %
税の徴収率(過年)	21.3 %
税の徴収率(現年)	97.4 %
税の徴収率(合計)	90.2 %

④将来にわたる財政負担(平成18年度)

(単位:千円・%)

区分	金額	比率
地方債現在高(A)	15,402,187	161.3
債務負担行為支出予定額(B)	1,939,398	-
実質債務残高(C=A+B)	17,341,585	181.6
積立金現在高(D)	1,570,365	16.4
将来にわたる財政負担(E=C-D)	15,771,220	165.1

⑤市町村税の状況(平成18年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税(構成比)	2,125,577 (39.0)	1,947,317 (39.6)	91.6
固定資産税(構成比)	2,883,858 (52.9)	2,542,382 (51.7)	88.2
その他の税(構成比)	439,911 (8.1)	425,210 (8.7)	96.7
合計	5,449,346	4,914,909	90.2

<公共施設整備状況>(平成17年度)

小学校	10 校	老人福祉施設	2 か所
中学校	3 校	病院・診療所	41 か所
幼稚園	9 園	道路改良率	32.4 %
保育所	6 か所	道路舗装率	65.6 %
図書館	1 か所	ごみ焼却処理率	71.5 %
公営住宅	160 戸	し尿衛生処理率	100 %
公民館等	4 か所	上水道等普及率	87.5 %
体育館	3 か所	排水等処理率	51.2 %
プール	0 か所	施設充足率(公私立幼稚園保育所)	109.0 %
児童館	0 か所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
南原・平川戸線道路整備事業	H19~H27	国道294号線から主要地方道結城下妻線を連絡する都市計画道路の一部区間の道路整備	3,390
市道106号線道路改良工事	H16~H22	市内数須地内国道294号線から横根地内県道下妻・真壁線結ぶ道路改良工事及び用地買収	1,135
やすらぎの里まちづくり事業	H17~H21	蚕飼地区の人口減少や少子化等の問題に対する対する活性化対策として、一般通行者の安らげる施設を交流拠点として整備する。	1,306
東部中学校建設事業	H18~H24	現在とは別の場所に約5万㎡の用地を確保し、現在の施設と同規模の校舎及び付帯施設を建築する。	3,200

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p><主要課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革の推進及び財政基盤の強化 ・中心市街地の活性化 ・優良企業の誘致 ・少子高齢化に対応した福祉制度の充実 ・下妻市次世代育成支援行動計画の推進 ・地域住民との協働による魅力あるまちづくりの推進
<p><特色ある行政等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アダプト・プログラム事業の実施 ・市民との協働による花のまちづくり ・ピアスパークしもつま、道の駅しもつま、やすらぎの里しもつまの各交流拠点を活かしたまちづくり ・乳幼児医療制度費助成制度による無料化の拡大